

ヒバカリ

名前の由来は、咬（か）まれると「その日ばかりの命」という迷信からです。実際は毒を持っていないので、咬まれても死ぬことはありません。そして、おとなしい性格なので、いじめたりしない限りあまり咬（か）みついてきません。

成長すると 60 cmほどになり、背中は淡褐色～褐色で首のあたりに白色の帯があり、腹面はうすいクリーム色です。

主に、低山地や高山の水辺周辺に生息しています。カエルやオタマジャクシ、魚、ミミズなどを食べます。

5月～6月に交尾し、7月～8月に5個前後の卵を産みます。

富士市での現状

今回の調査では、野田山の大師広場で確認できました。

丸火や岩本山などにも生息していると考えられます。



ヒバカリを確認したメッシュ

